平成27年度 福井県立清水特別支援学校スクールプラン

校訓、教育目標

げんきに　なかよく　わたしらしく
一人一人の可能性を伸ばし、社会の中でその子らしく生きていく力を育てる。

教育方針

○小学部・中学部・高等部の役割とその一貫性を踏まえながら教育活動の充実を図る。
○児童生徒の充実感を大切にし、発達や実態に応じた教育内容と指導や支援の在り方を追求する。
○一人一人のニーズに応じるために家庭や地域、教育・医療・福祉・労働等の関係諸機関との連携を深める。
○地域との交流を積極的に進め、児童生徒が豊かな地域生活を送れるように働きかける。
○教職員の資質と指導力の向上を目指し、研修や研究活動の充実を図る。
○教職員の知識・技能や施設・設備を生かした地域における特別支援教育のセンターとしての役割を果たす。

多忙化解消の取組（業務の改善）
・各種会議の効率的な運営に努める
・各学部・校務部間の連携を図る。

人権教育の推進
児童生徒への言動について振り返る機会を設け、人権を尊重した教育の充実に取り組む。

重点目標

1 教育課程・学習指導・研修（共通項目）（教育研究部･学部）	2 生徒指導（共通項目）（生活指導部）	3 進路指導（共通項目）（支援部）	4 支援（独自項目）（支援部）	5 地域との交流（独自項目）（小・中・高）
授業改善に取り組む。	児童生徒が健康で安全な学校生活を送ることができるよう支援する。	卒業後の生活を見通して、在学時から必要な支援を行う。	清水特別支援学校ぽかぽか発達支援センターの業務を推進し、センター的機能の充実を図る。	交流及び共同学習において児童生徒が、地域の人と関わりながら活動できるようにする。

具体的取組

a 校内の授業研究会・研修会に参加し､キャリア教育の観点を取り入れた児童生徒一人一人に合わせた支援を考える。

目標：指導の見直しと授業改善85%以上

具体的取組

a ヒヤリハットの事例やチェック表、広報などを活用し、健康で安全な学校生活を送るための支援や環境作りに努める。

目標：支援や環境作りに取り組む80%以上

b 災害時に備え避難訓練を行ったり、連絡体制やひかりの村との連携を整えたりする。

目標・災害時を想定した行動が取れた75%以上

具体的取組

a 学校と関係機関が連携して児童生徒や保護者をサポートしていく体制をつくる。

目標：児童生徒の支援について関係機関と共通理解を図るための取組みを行う80%以上

具体的取組

a センター的機能の意義や取組について、本校職員の理解を深める。

目標：センター的機能に関する校内研修を年３回以上持つ

具体的取組

(小) 学校間の交流及び共同学習において､本校と交流相手校の目標に沿った授業を実施する。
目標：双方の目標に沿った授業の実施70%

(中) 生徒一人一人の実態やニーズに応じた交流及び共同学習を実施する。
目標：双方の目的に沿った活動の実施80%以上

(高) 保護者との共通理解を深めながら交流及び共同学習を実施する。
目標：保護者との共通理解を深めながら実施80%以上